

村民の安全確保を!

日米共同訓練に関して村へ要望書提出

速やかに「議員懇談会」開催

12月4日早朝のニュースで「平成26年2月から3月にオスプレイ参加予定の日米共同訓練が新潟県関山演習場、群馬県相馬原演習場において行われる。」との報道があり、速やかに議員懇談会を開催し、今後の対応を協議しました。

また、12月6日「相馬原演習場における日米共同訓練」について、議員懇談会を開催し、村が防衛省に提出する要望事項の中に、議会要望を取り入れるよう要望しました。



【出典】防衛省：MV-22 オスプレイ

議会要望

- 1 今回の日米共同訓練の実施に際し、村民の安全安心のため、どのような対策が講じられるのか。どのような情報提供が行なわれるのか。
- 2 今回の日米共同訓練において、オスプレイが参加することとなった経緯及び目的について説明を求め。
- 3 オスプレイについては、過去に事故報道がありません。その後、どのような対応がとられ、安全を確認したのか。
- 4 オスプレイの騒音や振動について、ヘリコプターと比較し、どのようなものなのか。
- 5 オスプレイの飛行経路について、住宅密集地や小・中学校等の公共施設上空を飛行しないこと。
- 6 情報は、マスコミに報道される前に、村に情報提供を行うこと。

議会一丸となり対処 議会全員協議会開催

12月11日議会は、全員協議会を開催し、村が防衛省に提出した「相馬原演習場における日米共同訓練について」の要望書に基づく回答を、防衛省から左記のよう

に受けるとともに、事後の対応を協議しました。

1 相馬原演習場においては、しばらく日米共同訓練が実施されていなかったが実施される事となった経緯についての説明。

【回答】 陸上自衛隊全体の練度向上をさせる観点から、全国の部隊にバランスよく行わせてきている。今回の米海兵隊との共同訓練は、東部方面隊指揮下の第十二旅団に担当させた。

2 今回の日米共同訓練でオスプレイが参加予定となった経緯。

【回答】 沖縄の基地負担軽減の観点も踏まえ、沖縄以外の場所でオスプレイの

飛行訓練について様々な側面から検討してきた結果です。

3 オスプレイの安全性についての説明。

【回答】 大きな事故が過去4回発生しましたが、機能の追加や再設計など事故原因への対策を行い、技術的な問題はクリアされており、安全性は十分に確認されています。

4 オスプレイの騒音や振動について

【回答】 CH-46より静かに振動も通常の回転翼機に比較して違和感がないと思われま

5 村民の安全・安心のためどのような安全対策が図られるのか。

【回答】 日米合同委員会合意を遵守するとともに、安全性を最大限確保し、地元

に与える影響を最小限にとどめ、飛行安全教育や飛行前後の点検の実施等、事故のないように努めてまいります。

6 情報提供については、報道機関から発表される前に、地元自治体に情報提供をお願いしたい。

【回答】 迅速に情報提供を行うとともに、訓練内容を丁寧にご説明し、地元の皆様のご理解及びご協力を頂けるよう誠意をもつて対応してまいります。

今後の議会の対応

オスプレイ参加予定の日米共同訓練は、村民の安全安心が最も重要であり、議会閉会中であっても新たな情報があれば、早急に全員協議会を開催し、情報を共有するとともに、議会一丸となって対応してまいります。